

## すまいるあっぷ食事会

現在、週一回ペースですまいるあっぷを開催している5行政区（橋本、みどり、菊水、花月、文京区）で忘年会を兼ねた食事会を行いました。社会福祉法人くるみ会のパンとコーヒーを買ったり、おにぎりを持って来た方もいました。皆さんが持ち寄った美味しい漬物を食べながら、地域の話や約60年前の若い頃の苦勞話をし、苦勞話に少ししみりする場面もありました。そのほか、皆さんで懐メロを歌ったり、歌謡体操を踊ったりと楽しい時間を過ごしました。

みどり区ではシニアカフェが開かれ、ヘルスメイト手作りの減塩お弁当とデザートをいただきました。食後は、ドリルを使った脳トレ。認知症について学習しました。



## すまいるねっと（ふまねっとサポーターの会）

ふまねっとサポーターの会「すまいるねっと」を紹介します。

会館で開催されるすまいるあっぷのボランティアのほかに、かおる園デイサービスで月1回デイサービス利用者とふまねっとを楽しんでいます。体が不自由な方は杖をついたり、歩行器を押したり、サポーターさんと手を繋いだり、腕を組んで一緒にふまねっとをしています。

はじめに体操で体と頭をほぐし、「さん、はい!」「いち、にーい、さーん」「みーぎ、ひだり」と声をかけながら、約1時間半の間、楽しく過ごしています。皆さん真剣に取り組んでくださるので、毎回励みになっています。



2018年の流行語年間大賞は、カーリングLS北見の「そだねー」が選ばれましたね。標準語の「そうだね」に相当する北海道弁だそうです。今やLS北見の代名詞ですね。イントネーションを意識しても「そだねー」になり、彼女たちのようにはなりません。それには理由があります。彼女たちはかわいいのです。

そして、2018年の漢字一文字は1位が「災」、2位が「平」、3位が「終」。災いの多かった平成が終わる…とつなげると、なんだか気持ちが悪くなりますね。平成最後の記念すべき年だから、もっとハッピーな言葉が良かったという意見もあったようですが同感です。災い転じて福となす。2019年の漢字には「福」が選ばれますように！

会館で開催されているすまいるあっぷを漢字で表すと、「集」「楽」「笑」でしょうか。これまで出会うことがなかった沢山の方々にすまいるあっぷを通して、知り合うことができ、笑顔あり涙ありの一年間となりました。

私が選ぶ漢字一文字は、「縁(えん)」。多くの出会いとつながりに恵まれました。今年も笑って楽しく集い、たくさんの縁が結ばれますように。

相田みつをのことばから、冬と春のことばを紹介します。

～冬のことば～

厳冬

樹木が余分なものを捨てる季節

樹木が孤独に輝く季節

樹木が黙って根を張る季節

そして一年の中で樹木が最も充実する季節

～春のことば～

しあわせの花がいっぱい咲きますように



### 出張すまいるのご報告

・総進長寿クラブ

8月と11月の月例会にお邪魔して、すまいるあっぷのPRをさせていただきました。

・弥生寿クラブ

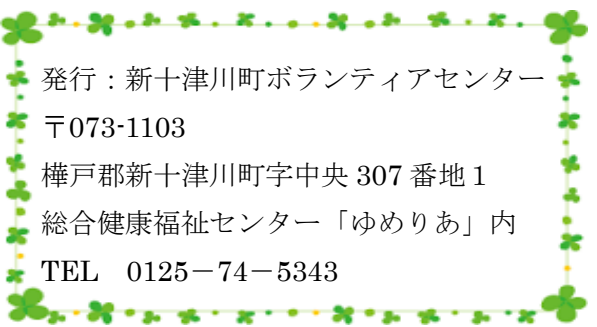
11月の月例会にお邪魔しました。こちらでもすまいるあっぷのPRをさせていただきました。

皆さんと和気あい「愛」、和やかな時間を過ごさせていただきました。また、設営・準備のお手伝いや進行にご協力いただき、ありがとうございました。

単位老人クラブや区のレク行事などに出張しています。ぜひ、お声かけください。

### ふれあい横丁の改修工事について

ふれあい横丁のサロンスペースの改修工事に伴い、ふれあい横丁で開催している中央地区のすまいるあっぷの開催会場が中央区会館に変更になります。詳しくは、社協広報「ふれあい」1月号にてご確認ください。



発行：新十津川町ボランティアセンター

〒073-1103

樺戸郡新十津川町字中央 307 番地 1

総合健康福祉センター「ゆめりあ」内

TEL 0125-74-5343

